

料金後納
郵便

しりあい



《重要》
通信指導の
提出について
載っています！



目 次

所長からのメッセージ	2	事務室からのお知らせ	17~19
客員教員のご挨拶	3~5	学位記授与式・入学者の集い・	
退任のご挨拶・着任のご挨拶		クラス会の開催について	
教務関係のお知らせ	6~16	卒業研究・修士論文発表会、	
客員教員によるゼミについて		卒業研究ガイドンスについて	
客員教員による学習相談について		学友同窓会について	
面接授業について(開始時間・教科書・保険)			
BYODと関連事項(Wi-fi利用)について		4・5・6月のスケジュール	20
通信指導、Web単位認定試験について			

「しりあい」の由来

語源は「愛知」。「愛を知り、知を愛する」をもじって「しりあい」とし、愛知学習センターで「知識を知りあい、お互いを知りあい、お互いの向上を知りあう場所にしたい」との希望を託して命名しました。

連絡先：放送大学 愛知学習センター TEL:052-589-8333

住 所：〒451-0051 名古屋市西区則武新町三丁目1番17号 BIZrium名古屋5階

ウェブサイト：<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aichi/> E-mail:aichi.sc@ouj.ac.jp

経済学とアイザック・アシモフ

愛知学習センター所長
根本 二郎



SF作家として著名なアイザック・アシモフという人がいます。SF作家であるのみならずボストン大学で教授職(専門は生化学)を勤め、一般向けの科学解説書等も多く執筆しました。実は経済学者の中に、アシモフの「銀河帝国興亡史シリーズ」(または原題に即して「ファウンデーション・シリーズ」)を読んで経済学を志した、という人が少なからずいるのです。なぜSFを読んで経済学者になるのでしょうか。かく言う私も経済学者ですが、中学1年のときに創元SF文庫でシリーズ最初の三部作を読みました。

この初期三部作ですが、まず心理歴史学という架空の学問が登場します。アシモフは心理学を物理学に対比して、物理学的精度で人間の心理と行動を解明するスーパー心理学と、それに基づき人類の歴史を予測し制御するSF上の学問として心理歴史学を創作しています。その心理歴史学が、銀河帝国の滅亡とその後3万年に及ぶ暗黒時代を予測します。同時に、滅亡は不可避であるもののその後の暗黒時代を千年に短縮することは可能であることが示され、そのために壮大なプランが策定され実行に移されるのです。

第二次大戦後の一時期、いわゆる自由主義経済の諸国において、経済学はある意味で心理歴史学と同じ方向を目指しました。つまり、経済を予測しコントロールすることです。その背景には、1929年の世界大恐慌の悪夢があり、その政策対応の基礎となったケインズ経済学の発展、またロケットの誘導などで成果を挙げていた制御理論の応用に対する期待もありました。実際の政策レベルでも、アメリカのケネディ政権はインフレなき完全雇用を目標に掲げ、当初それは見事な成功を修めたように見えました。

この経済学のチャレンジとその後の顛末は、機会を改めてもう少し書きたいと思いますが、ここでは結果だけ述べます。経済を制御するという試みは、思ったようには上手く行きませんでした。経済をコントロー

ルすることは、それほど容易なことではなかったのです。政府は企業や個人の行動を前提にして政策を決定し実行しますが、企業・個人は政策を知覚するとそれに反応して行動を変えてしまいます。政策自身が政策の基礎を覆してしまいますので、所望の結果を得ることは困難です。その点が軽視されていました。興味深いことに、アシモフ初期三部作での心理歴史学のプランは、その執行機関が人類社会から隠されていることが成功の必須要件でした。執行機関どころか心理歴史学自体も「星界の果て」に隠され、心理歴史学は銀河系のすべての大学から消え失せます。つまり人々が政策に対して無知あるいは無防備であることが、社会を制御するのに必要なのです。非常に厳しい条件です。しかし初期三部作が執筆された1940年代において、アシモフが早くもこの問題を重要ポイントと考えていたことは卓見でした。

さて、ケネディ政権後のアメリカは、1970-80年代を通じてベトナム戦争や石油危機などによる悪影響に対して経済政策が失敗し不振に陥ります。経済の最適制御を目指した経済学の信用は失墜するのですが、その現実の中でアシモフは1982年に初期三部作の続編を数十年ぶりに発表し、これ以後第7作までのシリーズが刊行されます。これらの作品群の中でアシモフは心理歴史学を完全にあきらめ、経済学とは接点のない全く別の人類社会救済原理を提示しています。1982年に私は経済学専攻の大学院生でした。私のいた研究室は計算機シミュレーションによる政策研究をテーマにしていたのですが、政策による予測・制御という考え方方がどんどん退行していく中で、私も自身の研究の進路を変えました。当時アシモフの続編には複雑な思いもありましたが、経済学の潮流を写し取る展開はこの作品のすぐれたSFとしての真髄でしょう。

アシモフがこの世を去って32年、AIの登場で社会が変革にさらされる今、彼だったらどんな小説を書くでしょうか。心理歴史学の復活もあり得る?それとも…

退任される客員教員のご挨拶

松島 周一 先生



2019年度から5年間、愛知学習センターで受講生の皆さんとともに多くを学ぶことができました。改めて、私の拙い話に付き合ってくださった方々、授業運営がスムーズに進むようお骨折りいただいたセンターのスタッフの皆さんに御礼申し上げます。特に、センターの移転という大変な時期に、授業に支障の出ないよう取り計らってくださったところには、本当に感謝申し上げるばかりです。ありがとうございました。

私が担当していたのは日本史のゼミであり、私自身の能力と興味関心から、主に戦国時代の頃に、愛知県周辺を舞台として展開された出来事を、史料を読みながら辿つて行くというスタイルで毎回の時間を使ってきました。限られた時間内での作業でしたので、どうしても私からの解説が多くなってしまいましたが、受講生の皆さんからは鋭い質問が投げかけられ、私自身が勉強し直さねばならないこともたくさんありました。その意味では、私自身もずいぶん鍛えられたゼミでした。ゼミに参加された皆さんには、必ずしも日本史の専門家ということではなかったと思いますが、知的な好奇心に溢れ、積極的に学びを進めようとする姿勢が強く窺える方たちばかりであり、そんな皆さんと時間を共有できることは、私にとっても嬉しく有難いことでした。

こうした皆さんのが集う学びの場として、愛知学習センターが持つ意義はこれからも重要なものであつづけると思います。今後のセンターの、益々のご発展を祈念しております。

阿部 英樹 先生



2019年4月から客員教員となり、ゼミや学習相談、卒業研究の指導を担当してきましたが、このたび5年間の任期を終えて、3月で退任することになりました。任期の途中で、愛知学習センターが私の本務校である中京大学の八事キャンパスから、現在の場所へ移転されることになりましたが、任期の最初から最後まで、大変充実した時間を過ごすことができました。とりわけ、新型コロナウィルスの感染拡大のなかでも、ご理解とご支援によって、対面形式のゼミや指導を受けられたことはありがたかったです。これまでお世話になった学生と職員の皆さんに、深く感謝申し上げます。

「歴史資料で読み解く経済の歩みと地域社会」をテーマにしたゼミでは、名古屋とその周辺を対象に、様々な歴史資料を読み解きながら、江戸時代以来の歴史的な特質や伝統、地域個性の行方について、学生の皆さんと語り合うことができました。

地域経済や地域社会の歴史を専門とする私にとって、年齢層の広い学生の皆さんとの対話のなかで改めて学ぶことが多く、研究のヒントとして、また授業の教材として、役立つ情報を得られる場になっていました。本務校の退職までは、まだしばらくあり、放送大学での経験を、今後の教育・研究に大いに活かしていきたいと思っています。本当に貴重な機会をありがとうございました。

退任される客員教員のご挨拶

金子一史先生



2022年度からの2年間ゼミを担当させて頂きましたが、今年度でゼミを終了することとなりました。受講生の皆さん、また、愛知学習センターのスタッフの皆様には、大変お世話になりました。この場を借りて、お礼申し上げます。

着任当初は、愛知学習センターは中京大学の八事キャンパス内にありました。コロナ禍の中で、少しずつ対面授業が増えていく過程にあった頃でした。Zoomによるオンラインか、対面方式の授業を選択できましたが、私自身はオンラインでのコミュニケーションがやや得意ではないことから、対面で開講したところ、幸い多くの方に参加いただくことができました。午後遅い時間の開始だったこともあり、ゼミの開始前に閉店間際の学食を食べるのが楽しみの一つでした。2023年に則武に移った際には、本務校からは遠くなってしまうなと思っていたのですが、真新しい綺麗な建物とイオンモールの隣という抜群の立地に、不満も消し飛んでしまいました。

2年間を通して、皆さんのが大変積極的にゼミに参加される様子を見て、大きな感銘を受けました。本務校の学生が少々おとなしく受け身的であるのに対して、ゼミの場では素朴な疑問を多数出してもらいました。また、これまでの業務や人生経験を通して発せられた質問に、ハッとさせられることも多々ありました。その点で、私もゼミから大きな刺激を受けていましたし、自身の教育研究活動に良い影響を与えていたと言えます。

学生の皆さんには、これからも学び続けることを通して、より豊かな人生を築いていかれることを祈念しております。また、愛知学習センターの今後益々の発展を願っております。

退任される先生方、今までありがとうございました。
新しく着任される先生方、どうぞよろしくお願ひいたします。



新しく着任される客員教員のご挨拶

大崎 園生 先生



今年度より新しくゼミを担当させていただくことになりました。大崎園生と申します。私の専門は臨床心理学ですが、その中でも特にストレスマネジメントやセルフケアに関心を持ってきました。メンタルヘルスの低下はさまざまな生活上の問題を引き起こし、よりよく生きること(ウェルビーイング)が難しくなります。私は心療内科等で成人のカウンセリングに携わってきましたが、メンタルヘルスが悪化してからカウンセリングなどで改善していくことは、生き方の変化につながる場合もありますが、生活上の困難が長引いてしまう場合もあります。そうした経験から、悪化を予防するための取り組み、すなわちストレスマネジメントやセルフケアが重要であると考えるようになりました。それから、日常生活で体験するストレスに対処するための考え方や方法、自分自身の心身の健康を保つセルフケアのスキルについて研究や実践を続けています。

また、ストレスの問題を考えるうえで環境要因に注目することも重要です。“わたし”的ウェルビーイングを大切にすることは、身近な人たちのウェルビーイングを大切にすることとつながっていると思います。個人のメンタルヘルスだけでなく、コミュニティのメンタルヘルスについても考えていきたいと思っています。

個人のストレスマネジメントは盛んに研究されていますが、コミュニティのメンタルヘルスの研究はまだまだ発展途上です。私も試行錯誤の途上ですので、このゼミでは参加者の皆さんに協力していただいて、コミュニティとしてのウェルビーイングをどのように高められるかをいろいろ試していきたいと思っています。

長屋 隆幸 先生



このたびご縁がありまして、こちらでゼミを担当させていただくことになりました長屋隆幸と申します。私の専門は歴史学(日本史)で、織豊期から江戸時代末までの戦争・軍事に関する研究を主に行っています。現在は、大坂の陣を主な研究対象としております。このように書くと武器や戦術などマニアックな知識を持てばすむかのように思われるかもしれませんのが、実は戦争・軍事の歴史を理解するには、それ以上に当時の政治状況や社会、文化など広い知識を持つ必要があります。それを知らなければ、その戦争が起きた原因や将兵たちが一見すると非合理的な行動をとっている理由などを考えることはできません。

広い知識を持つ必要性は、戦争・軍事研究に限るものではなく、どのような研究課題に向き合うにしても存在します。それでは、どのようにすれば当時の社会・政治状況を知ることができるのでしょうか。一つは、研究者が書いた書籍を読むことです。もう一つは、当時の人々が残した史料を丹念に読み解いていくことです。書籍を読むのは一人でもできますが、史料の読み込みは独りよがりになりやすいという問題があるので、他の人に自分の解釈を聞いてもらうのは読み解く力をつける近道です。このゼミでは、皆さんと織豊期から江戸時代の地元愛知県に関する史料を読みながら、史料の読み解く力を身につけてもらうことを目指していきます。

客員教員による学習相談及びゼミ(課外学習)のお知らせ

2024年度第1学期の客員教員による学習相談、ゼミを対面またはオンライン(Zoom)にて開催します。

対面 学習相談・ゼミについて留意事項

- 感染症や災害発生等の不測の事態により、日程変更や中止の可能性があります。その場合は、申込みを受け付けた学生個別に連絡いたします。必ず申込み手続きを行った上で受講してください。

オンライン(Zoom) 学習相談・ゼミについて留意事項

- Web会議システムZoomを利用します。受講する学生は無料で利用できますが、予めZoom公式ホームページから、使用するメールアドレスの入力など簡単なサインアップ(利用登録)が必要です。
- サインアップの際のメールアドレスは、放送大学が学生に発行しているキャンパスメールアドレスです。Zoomのアクセス情報等、ゼミを受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたしますので、利用できることを確認してから申込みをお願いします。
- メールの受信が出来ないなどの利用に不安がある方については、Zoomの接続テストを行います。

Zoomを利用するためには

- Wi-Fiや4G等のモバイル回線(テザリングを含む)、有線LAN等のインターネット通信環境が必要です。
- 確実に通信を維持できる環境が必要で、データ通信料に制限が無い定額のインターネット通信環境を推奨いたします。
- 通信環境のほか、パソコン(タブレット端末含む)、Webカメラ、マイク、イヤフォンが必要となります。
(Webカメラ、マイク、スピーカーがノートパソコン等の端末に内蔵されていれば、別途購入する必要はありません。)
- 接続の際の通信費やプロバイダ代金、端末代などは各自のご負担となります。
- ウィルス対策ソフトをインストールする等パソコンのセキュリティ対策は万全にしてください。

学習相談(対面・オンライン)について

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について客員教員が対面もしくはオンラインで学習相談を実施します。各教員の専門分野については、『愛知学習センター利用の手引』をご覧ください。

※放送授業の内容に関する質問は、『学生生活の葉』の「質問について」をご覧ください。

申込方法等

- 対象者：愛知学習センター所属の在学生(学生の種類は問いませんが休学中の方は除く)
- 受付期間：各学習相談日の1週間前まで。相談時間は原則として1人につき30分です。
- 申込方法：**対面の場合**／事務室窓口にて「学習相談票」に記入して提出してください。
オンラインの場合／愛知学習センターのウェブサイト内、[学習相談一覧]を参照してください。

学習相談日程

担当教員	相談方法	曜日	時間	日程		
横 越	対面	火	13:00～14:30	4/23	5/21	6/25
伊 藤	対面	金	10:30～12:00	4/19	5/31	6/21
西 田	オンライン	金	10:30～12:00	5/10	6/7	7/5
肘 井	対面	金	①10:30～12:00 ②13:30～15:00	5/10①	6/21②	6/28②
吉 田	対面	火	11:30～13:00	4/16	4/23	4/30
堀 場	対面	金	16:00～17:30	5/10	5/24	6/7
大 崎	対面	金	12:30～14:00	4/26	5/31	6/21
長 屋	対面	金/日	①(金)15:30～17:00 ②(日)13:30～15:00	6/14①	6/30②	7/14②

※担当教員の都合により日程変更等がある場合がありますので、ご了承ください。

ゼミ(対面・オンライン)について

2024年度第1学期の客員教員によるゼミを下記のとおり開催します。

ゼミは、通常の講義と異なり、客員教員の指導の下、学生さんが主体となって発表や討論をしながら少人数で勉学を進めていく場です。

正規の教育課程ではないので単位は修得できませんが、受講料は無料です。

各教員の専門内容については、『2024年度愛知学習センター利用の手引』をご覧ください。

申込方法等

●対象者：愛知学習センター所属の在学生（学生の種類は問いませんが休学中の方は除く）

	受付期間	受付方法
対面ゼミ	<p>当日の申し込み人数により 終了時間は未定です。</p> <p>4/5(金) 14時30分～</p> <p>電話受付無し</p>	<p>抽選会場：愛知学習センター 受付時間：14:30～15:00 抽選開始：15:00～</p> <p>持ち物：学生証（有効期限内のもの／コピー不可）</p> <p>※新入生・更新の方は受付前に窓口で受け取ってください。 ※当日は学生証の発行に時間がかかる場合があります。</p>
	<p>4/6(土) 10時～</p> <p>電話受付開始</p>	空席分を窓口および電話にて受付（先着順）
オンラインゼミ (Zoom)	<p>4/6(土) 10時～</p> <p>Web申請</p>	<p>愛知学習センターウェブサイト [スケジュール・授業案内] > [客員教員によるゼミ] > 「ご希望のゼミ名」 をクリックしてGoogleフォームからお申込みください。 ※Googleフォームに入力するご自身のメールアドレスは【キャンパスメール】です</p>

※申込者多数の場合、受講できない場合があります。

ゼミ日程

担当教員	受講方法	定員	曜日	時間	日 程						
横 越	対面	20	金	10:00~11:30	4/19	4/26	5/17	5/24	5/31	6/21	6/28
伊 藤	対面	20	金	13:30~15:00	4/19	4/26	5/10	5/24	6/7	6/21	7/5
西 田	オンライン	10	火	15:30~17:00	4/23	5/7	5/21	6/4	6/18	6/25	7/2
肘 井	対面	12	金	10:00~11:30	4/19	4/26	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14
吉 田	対面 (オンライン併用)	14	火	10:00~11:30	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/28	6/25
堀 場	対面	6	金	14:30~16:00	4/19	5/10	5/24	6/7	6/21	左記以外に1回、日本福祉大学浜キャンパスでゲスト講義に参加予定	
大 崎	対面	10	金	10:00~11:30	4/26	5/10	5/17	5/31	6/14	6/21	7/5
長 屋	対面	15	金	14:00~15:30	4/26	5/10	5/24	6/14	6/21	6/28	7/5
根 本	対面	15	火	14:00~15:30	4/16	4/23	5/7	5/14	5/28	6/11	6/18

留意事項

◆ 1人最多3つのゼミを受講できます。

なお、担当教員の都合により日程変更等がある場合がありますので、ご了承ください。

◆ 代理登録はできません。

◆ ゼミは、全ての回を受講できることを前提にしてお申込みください。

やむを得ず欠席する場合は、先生へ事前に連絡しておく、メールで連絡するなどご自身でお願いいたします。学習センター事務室で先生への伝言をお預かりすることは難しいため、ご了承ください。

ゼミの内容

横越ゼミ

英語学ゼミー英語のしくみ、ことばのしくみ(8)

対面



このゼミでは、英語で書かれたテキストや資料を読みながら、ことばの面白さや奥深さについて皆さんと考えていけたらと思います。人間の「ことば」をよく観察し分析してみると、发声の方法、語や文の形成、文章の解釈などの様々な側面で、どんな言語にも適用される普遍的な規則がみられます。今学期は、世界中の言語の中に存在する膨大な多様性と、その共通の特徴について考えていきます。言語学的観点から特定の言語を見るための多くの分析手法を紹介しながら、異なる言語を比較し、言語はどのようにしてなぜ異なるのか、また言語はどのようにしてなぜ似ているのかを考えてみたいと思います。ことばについての身近な現象について考察し、皆さんの経験なども交えて議論を進めていくことで、ことばの研究の楽しさも伝えられるゼミにできればと考えています。ことばに興味がある方、また英語の読解力を高めたいという方の受講も歓迎します。

このゼミではテキストをプリントで配付しますので新たに購入いただくものはありませんが、昨年度使用した教科書の最後の章を学期始めに扱いますので、昨年度から引き続き受講する方は初回のゼミにご持参ください。

伊藤ゼミ

『新古今和歌集』を学ぶ

対面

※前学期は『オンライン』開催でしたが、今学期は『対面』での開催となります。



『新古今和歌集』は、鎌倉初期の和歌の世界における一つの華やかな到達点と言えます。詠み出された和歌には、一首の内容を広げる試みとして整備された本歌取の技法が見られ、集が作られた時期は、後鳥羽院のもとで廷臣が歌を競い、女流歌人も登用され、文学史上特筆すべき時期でした。

また『新古今和歌集』の表現する世界は、後世には、諸芸能・文化に広く浸透しました。連歌作者の心敬は、新古今の著名歌人たちの歌を学んでこそ、連歌の理解を極めることができます。詠み出された和歌には、一首の内容を広げる試みとして整備された本歌取の技法が見られ、集が作られた時期は、後鳥羽院のもとで廷臣が歌を競い、女流歌人も登用され、文学史上特筆すべき時期でした。

今年度は、『新古今和歌集』から、すぐれた歌を取り上げて集の特質を理解していきます。毎回プリントを使用し講義をしますが、参考図書としては久保田淳訳注『新古今和歌集』(上下二巻、角川ソフィア文庫)などが通覧に便利です。

システムWAKABAにご登録の連絡先をご確認ください

ゼミや面接授業の閉講や日程変更のお知らせ、単位認定試験に関わる大切なお知らせなど、放送大学本部または愛知学習センターからのお知らせやご連絡はシステムWAKABAにご登録の住所および連絡先へ通知しております。

住所や連絡先に変更があったときは、速やかにシステムWAKABAから申請するか「住所等変更届」を所属学習センターへ提出してください。

- システムWAKABA → 「教務情報→変更・異動手続」
- 住所等変更届 → 学生の栄: (教養学部) 巻末様式4/ (大学院) 巻末様式3

西田ゼミ

幸せな老いを考える：人生100年時代をどう生きるか

オンライン



歳を重ねると誰しも、視聴覚や運動の機能などのさまざまな身体的老化を経験します。記憶力やすばやく処理する能力などの認知機能の低下を実感します。また、仕事からの引退や身近な人の死別により、社会的な関係が少なくなることもあります。この数十年間で日本人の平均寿命は大きく伸びました。人生が長くなったことはもちろん喜ばしいことですが、一方で、シビアともいえる老いとともにありながら、どのように高齢期を過ごすかは、私たちが生涯を通じて考えるべき重要な課題となっています。本ゼミでは、生涯発達心理学や高齢者心理学の理論や研究を参照しながら、幸せに老いる、ということについて考えたいと思います。最初の数回は、私から心理学のトピックを紹介し、自由にディスカッションします。後半の数回では、各々、関心のある事柄をふまえてご発表いただき、全体で討論を行っていきます。

肘井ゼミ

生物多様性と地域環境・地球環境

対面



近年、地球上に生息するさまざまな生きものが絶滅の危機に瀕していることが頻繁に報じられるようになり、それにともなって、「生物多様性」という用語の認知度も徐々に高まってきたように思われます。農林業や水産業をはじめ、さまざまな経済活動が「生物多様性」に大きく依存していることが認識され始め、食の問題や環境汚染、地球温暖化とともに異常気象等の身近な問題を通して、「生物多様性」の危機が人類の未来を危うくするという漠然とした不安感が高まってきたことも、その一因と思われます。生物多様性は、私たちの食物や医薬品の元となる生物資源を生み出す源泉であり、私たちの身近な生活環境とも深いかかわりを持っています。

このゼミでは、まず生物多様性の現状と課題、私たちの暮らしとのかかわりについて概説します。続いて、新聞、雑誌等さまざまなメディアで取りあげられた生物多様性に関する課題や身近な環境問題等について、自分なりの考えを含めて報告していただき、地域環境・地球環境における「生物多様性」の保全方策や、私たちが辿るべき道筋を、受講生の皆さんとともに考えていきたいと思います。

吉田ゼミ

すごい分子

対面 (オンライン併用)



物質を扱う「化学」という学問は現代科学の基礎であり、化学なしには現代の生活は一日たりとも成り立たない。しかし、化学=苦手、化学=亀の甲、という印象が強く、食わず嫌いの方がおおいのではないだろうか。このゼミでは、生活に密着した題材から化学を知り、化学に親しむことを目的に、ブルーバックスの「すごい分子 世界は六角形でできている」を輪読する。

化学の象徴とも言われる六角形の芳香環。身近な物質にも広く存在するが、カーボンナノチューブやカーボンナノベルト、フラーインなどのように、最先端の科学でも注目され続けている。芳香環が持つユニークな性質を利用して、さまざまな応用がされており、その可能性は無限大。六角形の物質の魅力にとりこになった化学者たちのエピソードを踏まえながら、芳香環のおどろくべき性質を紹介していくことで、自然に有機化学の知識を身につけることをめざす。

テキスト:すごい分子 世界は六角形でできている 佐藤健太郎著

講談社ブルーバックス、2019年01月17日、1100円、ISBN:978-4-06-514214-1

<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000318654>

ゼミは輪読・演習形式で実施する。初回に担当箇所などを相談して決定する。

各ゼミ生が調べ発表し、それについて討論する形式で進める。

初回は対面で実施するが、その後、場合によってオンラインを併用する予定。

堀場ゼミ

子どもの貧困・虐待の背景と支援—児童養護施設等の現場から考える—

対面



※学外実習の見学先が重複する可能性があるため、過去に当該ゼミを受講した学生は受講できません。
※学外実習当日は、現地までの交通費は自己負担で、学生教育研究災害傷害保険(数百円)に加入していただきます。

近年、日本では厳しい社会状況を反映して、子どもの貧困・虐待が深刻化しています。また、虐待を受けた子どもが暮らす児童養護施設(以下、施設)においても、小規模かつ地域分散化が進むなかで、職員の過重労働が深刻化しています。

こうした状況を踏まえて、ゼミでは教員や受講生の話題提供を踏まえた意見交換に加えて、愛知県内の児童養護施設・乳児院・母子生活支援施設(希望者がいれば少年院も)などの見学(1~2回)や、児童養護施設経験者等のゲスト講義(日本福祉大学美浜キャンパス、1回)を行い、子どもの貧困・虐待の背景・支援について体験的に学んでいきます。

なお、施設見学や日本福祉大学でのゲスト講義は、現地までの交通費は自己負担で、学生教育研究災害傷害保険(数百円)に加入していただくことになります。初回ゼミでは、受講生の自己紹介や問題意識を報告していただいたうえで、受講生同士の交流をしたいと思います。その後、施設見学やゲスト講義の日程等を確認する予定です。

大崎ゼミ

個人とコミュニティのウェルビーイングを考える

対面



阪神淡路大震災以降、「心のケア」という言葉が知られるようになってきました。大きな災害から日々のストレスまで、メンタルヘルスをどのように維持または増進するかということに高い関心が寄せられています。メンタルヘルスの悪化によって、よりよく生きること(ウェルビーイング)が難しくなるという理由がそこにはあると思われます。そこでメンタルヘルス悪化を予防するストレスマネジメントやセルフケアが重要となります。同時に、その個人が参加しているコミュニティのウェルビーイングも重要な問題です。そこで、個人のメンタルヘルスだけでなく、コミュニティのメンタルヘルスについても考えていくことを思っています。ゼミでは個人のストレスマネジメントやセルフケアの講義と体験的ワークを行い、コミュニティについては心理的安全性についての講義とグループワークを行う予定です。参加者の皆さんからもフィードバックをいただきながら、進めたいと思います。

長屋ゼミ

「家忠日記」を読む

対面



歴史学とは、主に文字史料を分析して、過去の人々の営みを考察する学問です。したがって、歴史を研究するには、文字史料の内容が理解できなければはじまりません。このゼミでは「家忠日記」を輪読し、その内容を解釈しながら史料読解力を持つことを目指します。なお、講義中に分からなかった語句などについては、当番を決めて皆さんに調べていただきたいです。読んでいく「家忠日記」ですが、徳川家康に仕えた松平家忠という武将が残した日記です。彼は三河国深溝(現幸田町)の領主で、関ヶ原の戦いの前哨戦にあたる伏見城の戦いで戦死しております。日記は天正5(1577)年10月から文禄3(1594)年9月頃まで、一部脱落がありますが概ね残存しており、原本は現在駒澤大学が所蔵しています。このゼミでは翻刻された活字を読んでいきます。なお、テキストはこちらでコピーを適宜配布いたします。

対面

根本ゼミ(※) わかることを目指す確率・統計

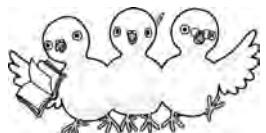
※愛知学習センター・根本所長によるゼミです。



近年、データサイエンスやAIが学術研究を支えるツールとしてのみならず、経済社会を支える基盤として重要性を増しています。これに伴って、大学でも高校でも統計学を学ぶ機会が増えました。授業や講義で学ぶ場合、その主たる目標はデータ分析ができるようになることですが、ともすると公式を覚えてその基礎にある考え方まで理解が及ばない、ということもあります。このゼミでは、高校で教えられている「確率・統計」レベルの分析手法について、何をしようとしているのか、またなぜそのようにするのかについて、理解を深めることを目指します。

具体的には、統計については、母集団と標本の関係、平均、分散、相関係数といった基本的統計量、平均と比率の区間推定および検定などを取り上げます。確率についても同様に、平易な問題を通じて考え方の理解を目指します。講義もしますが、基本はこちらで用意したデータや問題を提示して、皆さんで議論しながら考えて行く形で進めます。実例やパズル、ゲームなども利用します。一般的な教科書の内容をフォローすることはしません。

高校教科書のレベルの話題を扱いますが、高校数学の知識は不要です。教科書は使用しませんが、参加者のレベルと興味関心にあわせ参考書を適宜紹介します。



講義室は、ゼミ開始時間の30分前に開室いたします!!

キャンパスメールをご確認ください

学生全員にメールアドレスが付与されています。放送大学や学習センターからのお知らせを随時送付しております。

また、オンライン公開講演会やオンライン授業にご参加いただく際にもキャンパスメールを使用いたします。

定期的にご確認いただくとともに、メールの利用について確認をお願いいたします。



【キャンパスメールアドレス】

学生番号(ハイフン除く半角10桁)@campus.ouj.ac.jp



キャンパスメールは
システムWAKABAトップページより
ご確認いただけます。

